

▼地域公共交通確保対策協議会の様子



幕別町コミュニティバス

地域の公共交通のあり方を検討する「地域公共交通確保対策協議会」では、昨年7月と11月に実施したコミュニティバス（コミバス）の試験運行の結果などを踏まえ、本年10月から本格運行する方針を固めました。この他、利用者が減少している町営バス駒畠線の運行形態を予約制の乗合タクシーに見直す検討がなされました。

■問い合わせ先 企画室 TEL【幕】54-6610

11月試験運行の結果

11月に実施したコミュニティバス試験運行は7月と同様に、幕別と札内の2路線で、それぞれ1日当たり5便を運行しました。

7月は無料で運行しましたが、11月は中学生以上を100円、小学生を50円、乳幼児は無料として実施しました。（通学に利用する児童・生徒は無料として実施）

11月の利用状況は1361人と、7月の試験運行と比べ60人が増加しました。（1日平均3.4人の増加）

乗客からのアンケート調査では、小学生や中学生、高齢者の利用が多く、乗車目的としては、「通学・下校」が717人で最多となりました。

また、乗客の14.9%の方が自由意見を回答しており、「生活交通として助かる」が74人と最も多い結果となりました。

この結果を踏まえ、同協議会では、交通弱者（自家用車を持たない方や高齢者など）の公共交通機関の確保は、費用対効果だけでなく福祉の観点からも必要であるとし、本年10月から本格運行する方針を固めました。

▼アンケート調査の概要

乗車目的	回答人数
通学・下校	717人
帰宅	236人
買物・飲食	125人
その他 (試乗や温泉への入浴など)	214人
自由意見	回答人数
生活交通として助かる	74人
バス停や運行ルートの改善	39人
運行の継続を望む	23人
運行ダイヤの改善	18人

▼試験運行の比較

運行月	利用者数	1日平均	運賃
7月	1,301人	42人	無料
11月	1,361人	45.4人	有料

※コミュニティバス試験運行の結果に関する詳細は町ホームページをご覧ください。

運行と同様に幕別と札内の2路線で運行し、経路やバス停は、試験運行の利用者の意見などを参考に、今後、協議会で検討することになります。乗車運賃については、11月の試験運行時の運賃を基本に、回数券の発行なども協議するとしています。

町営バスの運行形態見直し

糠内・駒畠地区の生活交通を確保するため、昭和46年12月から運行している町営バス駒畠線は、利用者の減少や、使用しているバス車両の更新時期が近づいていることなどから、現行の路線バス方式から、予約制の乗合タクシーへ運行形態を見直す方向で、本年10月からの試験運行を計画しています。運行区域や乗車運賃は、1月に実施したアンケート調査の結果などを参考に、同協議会で今後、検討することになります。